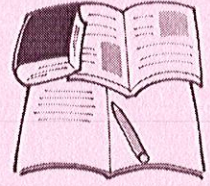
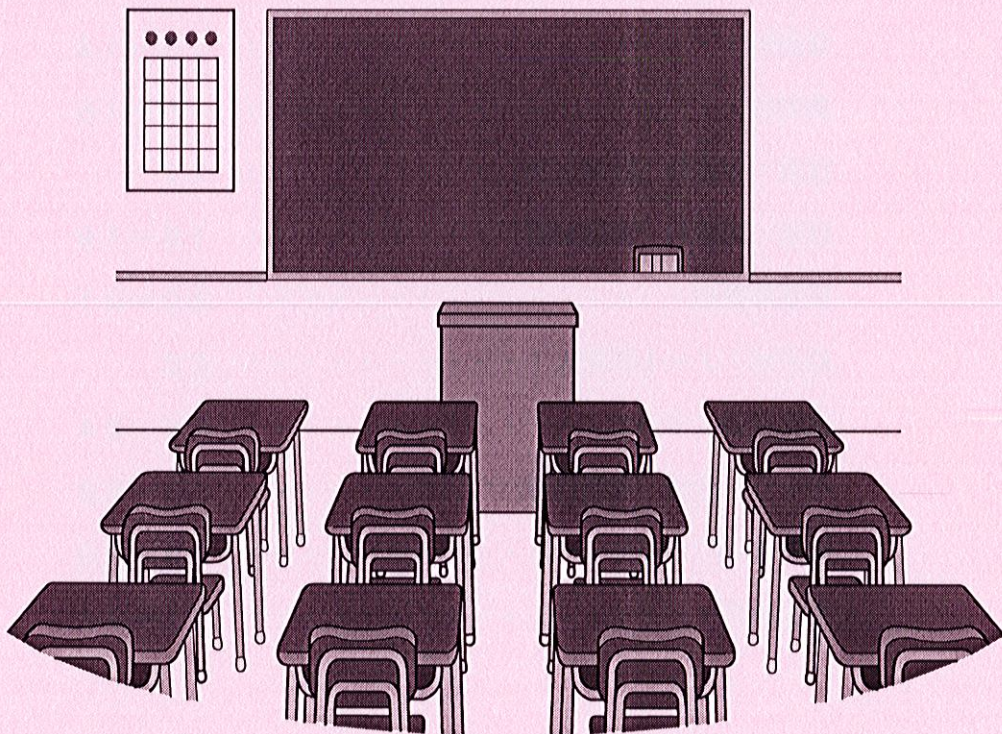


2019（平成31）年度
土佐市立土佐南中学校



学習シラバス

～ 「シラバス」とは、授業の計画や学校生活についてわかりやすくまとめたものです ～



年 A 組 番氏名

目次

保護者の皆さまへ	1
国語科	2～3
社会科	4～5
数学科	6～7
理科	8～9
英語科	10～12
音楽科	13～14
美術科	15～16
技術・家庭科（技術分野）	17
技術・家庭科（家庭分野）	18～19
保健体育科	20～21
めざせ！ノートの達人！	22
家庭学習について	23～24
キャリア教育・進路指導について	25～28
健康管理について	29～30
生徒心得	31～34

保護者の皆さまへ

土佐南中学校では、「一人ひとりを大切にしたいわかる授業の創造 ～自分たちで考え適切に行動する生徒～」を主題とし、日々の授業改善に取り組んでいます。

この授業改善は、生徒一人ひとりの基礎的・基本的な学力を定着させることはもちろんのこと、一人ひとりの学力向上を図るために取り組んでいるものです。

具体的に、次の3点を重点に取り組んでいます。

①「まとめ」をイメージできる「めあて」の提示

本校では、生徒自らの学ぶ力を育成し、一人ひとりの学力を向上するために「見通す・振り返る学習活動」の実施に取り組んでいます。学校生活において、「自分の言葉で表現する場面の設定」や「考えて行動し、成功したという体験を積ませる」ことについて研究・実践しています。「まとめ」をイメージできる「めあて」の提示では、生徒が、今日の授業で「何を」「何のために」「どのように学ぶのか」を示し、学習したことを生徒自身の言葉で振り返る授業を行っています。

②「学習タイム」の活用

本校独自の取り組みとして、下校前の10分間を「学習タイム」として、5教科(国語・社会・数学・理科・英語)の基礎的・基本的な内容を学習(復習)しています。金曜日には定着度を確認するためのテストを行うことで生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図っています。

③ 家庭学習習慣の確立

授業で学習した内容を定着させ、さらに深化させるために毎日の家庭学習は不可欠です。

本校では全学年で「自主学習ノート(通称:自学ノート)」を家庭学習として取り組んでいます。生徒自身が学習内容について、何が分かる・できるようになったのかを振り返ったり、練習・発展問題を解いたり、理解が不十分なところを復習・まとめなおしたり、興味・関心をもった内容をさらに調べたりして、家庭学習習慣を身に付けながら、学力の定着・向上を図っています。

学習シラバスは、授業における生徒たちの学習計画を知らせるとともに、生徒たちがどのように学習すれば良いのかを考える一助になればと考え作成しています。

学習計画を保護者の皆さまにもお知らせすることで、本校の教育方針や内容を理解いただき、家庭でも授業内容を家庭学習へつなげていただく手立てにさせていただけたらと考えております。ぜひ一読いただき、理解・協力をお願いします。

国語科シラバス

土佐市立土佐南中学校国語科

1 教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝うあえ力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 学習内容

学期	・第1学年（140時間）	・第2学年（140時間）	・第3学年（105時間）
1 学期	風の五線譜	未来へ	生命は
	話し方はどうかな	メッセージをどう読むか	二つのアザミ
	音声の仕組み	短歌を楽しむ	俳句の読み方、味わい方
	詩の心 発見の喜び	短歌のリズムで表現しよう	俳句を作って句会を開こう
	鮮やかに表現する	方言と共通語	和語・漢語・外来語
	小さな発見を詩にしよう	敬語	間違いやすい敬語
	文法とは・言葉の単位	字のない葉書	形
	活字と書き文字・画数・筆順	卒業ホームラン	百科事典少女
	飛べ、かもめ	問題意識を持って聞こう	評価しながら聞こう
	質問をする	形の似た漢字	連語・慣用句
	会話が弾む質問をしよう	鯉節 世界に誇る伝統食	熟語の構成・熟字訓
	つなぐ言葉・指し示す言葉	要約する	絶滅の意味
	オオカミを見る目	テーマを立てて説明する	論理的に読む
	分類する	調べて考えたことを伝えよう	素材を生かして表現する
	構成を考えて書こう	用言の活用	編集して伝えよう
文の成分・連文節	漢字の意味	四字熟語	
碑	小さな労働者	落語の秘密	
書写	書写	書写	
2 学期	スズメは本当に減っているか	哲学的思考のすすめ	黄金の扇風機
	事実と考えを区別する	論証の組み立てを捉える	サハラ砂漠の茶会
	根拠を明確にして書こう	反対の意見を想定して書こう	比較する
	順序を立てて説明する	説得力のある提案をしよう	観察・分析して論じよう
	具体例を挙げて伝えよう	助詞・同音異字	目的や相手に応じて説明する
	単語の分類	枕草子・徒然草	場面に応じて説明する
	漢字の部首	平家物語	曖昧な文・分かりづらい文
	月夜の浜辺	漢詩	送り仮名・文法のまとめ
	伊曾保物語	助動詞	初恋・言葉の移り変わり
	竹取物語	走れメロス	万葉・古今・新古今
	矛盾	人物像を捉える	おくのほそ道・論語
	案内や報告の文を書こう	類義語・対義語	故郷
名詞	歴史の物差し 水月湖の年稿	人物どうしの関係に着目する	
書写	書写	書写	
3 学期	少年の日の思い出	「正しい」言葉は信じられるか	何のために「働く」のか
	文脈を捉え、伏線に気づく	タウン誌の記事を推敲しよう	紛らわしい漢字
	語の意味と文脈・多義語	反論する	いつものように新聞が届いた
	集まって住む・漢字の成り立ち	話し合いで問題を解決しよう	メディアと東日本大震災
	ニュースの見方を考えよう	想像を表現しよう	合意を形成する
	学校新聞の記事を書こう	いきいきと描き出そう	話し合いで問題を解決しよう
	話し合いで理解を深めよう	同音異義語	今の思いをまとめよう
	作品のよさを表現しよう	わたしが一番きれいだったとき	間違いやすい漢字
	連体詞・副詞・接続詞・感動詞	坊ちゃん	レモン哀歌
	名づけられた葉・トロッコ	落葉松	生ましめんかな
書写	書写		

3 評価のしかた

国語科の評価の観点は5つあります。それぞれ、下記のように評価します。

観点	評価規準	評価の方法
I 国語への 関心・意欲・態度	国語に対する関心を深め、国語を尊重し、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。	○提出物(ノート・ワーク・プリント) ○自己評価表 ○小テスト
II 話す・聞く能力	自分の考えを豊かにしたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	○話し合うときの態度 ○話し合いの文章の内容 ※これらをA B Cの3段階で評価する
III 書く能力	自分の考えを豊かにしたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。	○場面や目的に応じて文章を書く(作文や感想文など)
IV 読む能力	目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	○ペーパーテスト(読んで理解しているかどうか)
V 言語についての 知識・理解・技能	さまざまな古典の作品に触れる中で、我が国に長く伝わる言語文化について関心を広げたり深めたりする。表現と理解に役立てるための音声、語句、語彙、文法、漢字等について理解し、知識を身につけている。書写では、文字を正しく整えて速く書く。	○漢字小テスト ○文法テスト ○定期テストの言語領域

4 授業のポイント

国語の場合も、**授業が何より大切です。**

国語の力の大半は、「**授業に集中することによって培われる**」と言っても過言ではありません。先生が言ったことや人の意見も、できるだけメモするようにすると良いでしょう。

5 家庭学習のポイント

○必ず取り組んでもらいたいこと

その1 教材ごとに、**①語句の意味調べ**
②新出漢字の調べや学習 をすること。

その2 毎回の漢字テストは確実に「覚えて臨む」を心がける。

その3 朝読書では、できるだけ「名書」といわれるものを読みましょう。

これが定着している人は、3年間で着実に実力がついてきます。

○さらに意欲的に取り組みたい場合は…

その1 授業中聞いたポイントをまとめる。

その2 関連事項(作者や同ジャンルの他の作品)を調べる。

その3 読書をする。(名作と呼ばれるもの)

(朝読書の時間のマンガはやめましょう)

その4 週1つでも新聞記事を切り抜いてノートに張り、自分で要約をして感想を書く。

その5 テストの予想問題を作ってみる。



あ
い
う
え
お

意欲的に学習する中学生は、3年間でぐーんと力を伸ばします。国語は、一朝一夕には実力がつかない教科ですが、地道な努力の積み重ねで、ゆるやかですが、着実に力が伸びる教科です。授業を大切に頑張ってください。

社会科 シラバス

1. 社会科の目標

広く社会を見つめ、社会に関心をもち、いろいろな資料をいろいろな角度からながめて観察できるようにする。そして日本という国やその歴史を知ることで国を大切に考え、平和で民主的な考え方を持つための基礎を学ぶ。

2. 主な学習内容 [凡例 ㉔ は地理的分野、㉕ は歴史的分野、㉖ は公民的分野]

学期	1年 (全105時間) 地理的分野・歴史的分野	2年 (全105時間) 地理的分野・歴史的分野	3年 (全140時間) 歴史的分野・公民的分野
1 学 期	<p>世界のさまざまな地域 ㉔ 私たちの地球と世界の地域構成 人々の生活と環境</p> <p>歴史の移り変わりを考えよう ㉕</p> <p>原始・古代の日本と世界 ㉕ 人類の出現と文明のおこり 日本の成り立ちと倭の王権 大帝国の出現と律令国家の形成 貴族社会の発展</p>	<p>日本のさまざまな地域 ㉔ 日本の地域構成 世界からみた日本のすがた</p> <p>近世の日本と世界 ㉕ 幕藩体制の確立と鎖国 経済の成長と幕政の改革</p> <p>近代の幕開け ㉕ 近代世界の確立とアジア 開国と幕府政治の終わり</p>	<p>二度の世界大戦と日本 ㉕ 第一次世界大戦と民族独立の動き 大正デモクラシー 恐慌から戦争へ 第二次世界大戦と日本の敗戦</p> <p>現代の日本と世界 ㉕ 日本の民主化と冷戦 世界の多極化と日本 冷戦の終結とこれからの日本</p> <p>現代社会と私たちの生活 ㉖ 現代社会の特色と私たち 私たちの生活と文化</p>
2 学 期	<p>世界のさまざまな地域 ㉔ 世界の諸地域 ・アジアの多様性と経済発展 ・アフリカの人々の暮らしとその変化 ・統合を強めるヨーロッパの国 国 ・世界に大きな影響力をもつ北 アメリカ</p> <p>中世の日本と世界 ㉕ 世界の動きと武家政治の始まり ゆれ動く武家政治と社会</p>	<p>日本のさまざまな地域 ㉔ 日本の諸地域 ・九州地方 ・中国・四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・北海道地方</p> <p>近代の日本と世界 ㉕ 明治維新と立憲国家への歩み 激動する東アジアと日清・日露 戦争</p>	<p>現代社会と私たちの生活 ㉖ 現代社会の見方や考え方 個人の尊重と日本国憲法 ㉖ 人権と日本国憲法 人権と共生社会 これからの人権保障 現代の民主政治と社会 ㉖ 現代の民主政治 国の政治の仕組み 地方自治と私たち 私たちの暮らしと経済 ㉖ 消費生活と経済 生産と労働 価格の働きと金融</p>
3 学 期	<p>近世の日本と世界 ㉕ 結びつく世界との出会い 天下統一への歩み</p> <p>世界のさまざまな地域 ㉔ 世界の諸地域 ・南アメリカの開発と環境 ・他地域と結びつくオセアニア 世界のさまざまな地域の調査</p>	<p>近代の日本と世界 ㉕ 近代の産業と文化の発展</p> <p>日本のさまざまな地域 ㉔ 日本の諸地域 ・関東地方 ・東北地方 身近な地域の調査</p>	<p>私たちの暮らしと経済 ㉖ 政府の役割と国民の福祉 これからの経済と社会</p> <p>地球社会と私たち ㉖ 国際社会の仕組み さまざまな国際問題 これからの地球社会と日本</p> <p>より良い社会を目指して ㉖</p>

3. 評価の観点および評価方法

観 点	評価する内容や規準	評価の方法
社会的事象への 関心・意欲・態度	社会の内容に関心をもち、意欲的に考えようとしているか。	観察、レポート、テスト
社会的な 思考・判断・表現	社会のさまざまなできごとを、基礎知識を基にして考えることができているか。	観察、レポート、テスト
資料活用の技能	資料を適切に読み取ってまとめることなどができているか。	観察、レポート、テスト
社会的な事象についての 知識・理解	基礎・基本的な用語などの意味を理解できているか。	観察、レポート、テスト

4. 授業での学習ポイント

- ① 日々の授業では、すすんで他の人の意見や考えを聴き、そこから自分の意見を持つ。授業を大切にすることが基本とになります。授業の中では課題が出されます。課題について、考え方や表現方法などは人それぞれです。まずは仲間の考えに耳を傾けましょう。そこから自分の考えや意見をまとめるようにしましょう。
- ② 様々なメディアなどで得た情報から自分で調べ、視野を広げる。社会科の力を伸ばすには、いろんなことに興味をもつことが大切です。日々の報道（ニュース）を見聞きして、例えば事件があればその場所はどこなのかを地図帳で調べてみたりするとより深く学ぶことができます。
- ③ 考えたことを文章に簡潔に表現するトレーニングをする。教科書にある言葉をそのまま使うのではなく、頭の中に入れて自分で整理し、自分の言葉を使って表現するように意識しましょう。

5. 家庭学習のポイント

授業で学習したことや教科書に載っている内容をただ単に家庭学習で自主学习ノートなどへ写すだけの学習では、せっかく時間をかけて学習しても自分の頭に残りにくいものです。せっかく時間をかけるのですから、ずっと頭に残るような工夫が必要です。

- ① 一目で分かりやすいまとめ方の工夫をする。
 - [地理]・・・「地図」を描いて、そこに必要なことを書き込んでまとめる。
 - [歴史]・・・「年表」を書いて、年代を整理しながら時代の流れをまとめる。
 - [公民]・・・「図」や「グラフ」を描いて、特徴などを書き込んでまとめる。
- ② テーマを決めてまとめ直す。

授業で学んだことをそのままノートにまとめるのもいいのですが、自分でまとめ直すことにより定着します。例えば、「江戸時代の鎖国について」と自分でテーマを決めてまとめてみるといいでしょう。

数学科シラバス

平成31年度 土佐南中学校

1 教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数学や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

2 学習内容

学期	1年（全140時間）	2年（全105時間）	3年（全140時間）
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正の数と負の数 正の数と負の数、加法と減法、乗法と除法、正の数と負の数の活用、章末の問題 ・ 文字を用いた式 文字と式、1次式の計算、文字式の活用、章末の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式の計算 文字式の計算、文字式の活用、章末の問題 ・ 連立方程式 連立方程式、連立方程式の活用、章末の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式の展開と因数分解 式の展開、因数分解、文字式の活用、素因数分解、章末の問題 ・ 平方根 平方根、根号を含む式の計算、章末の問題 ・ 2次方程式 2次方程式、章末の問題
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一元一次方程式 方程式、方程式の活用、章末の問題 ・ 比例、反比例 関数、比例、反比例、比例と反比例の活用、章末の問題 ・ 平面図形 基本の図形、図形の移動、基本の作図、章末の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次関数 1次関数、1次方程式と1次関数、1次関数の活用、章末の問題 ・ 図形の性質と合同 角と平行線、三角形の合同と証明、章末の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関数$y = ax^2$ 関数$y = ax^2$、関数$y = ax^2$の活用、いろいろな関数、章末の問題 ・ 相似な図形 相似な図形、平行線と線分の比、相似な図形の面積比と体積比、章末の問題 ・ 円 円周角の定理、円と直線、章末の問題
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空間図形 空間図形の観察、図形の計量、章末の問題 ・ データの分布 資料の散らばりと代表値 ・ 不確かな事象の起こりやすさ 章末の問題 ・ 1年の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角形と四角形 三角形、平行四辺形、章末の問題 ・ 確率 確率、章末の問題 ・ 2年の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三平方の定理 三平方の定理、章末の問題 ・ 標本調査 標本調査、章末の問題 ・ 3年の復習

3 評価の観点及び評価方法

観点	評価をする内容や規準	評価の方法
数学への 関心・意欲・態度	数学的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさや数学のよきを実感し、数学を活用して考えたり判断したりしようとする。	授業態度 提出物等
数学的な 見方や考え方	事象を数学的にとらえて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	小テスト 定期テスト等
数学的な技能	事象を数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を身に付けている。	
数量や図形などについての知識・理解	数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。	

4 授業のポイント

- (1) 先生の説明や友達の発表をしっかりと聞きましょう。
- (2) 必ずノートを取りましょう。

ノートのとり方・・・後で見たときにわかるように、整理して書きましょう。

- ① 計算式を書くときは途中の式も書きましょう。
 - ② 計算式の＝（イコール）はたてにそろえて書きましょう。
 - ③ 問題を解いたら、丸付けをし、間違いは消さずに赤ペンでの直しをしましょう。
 - ④ 授業でわかったことや大切だと思ったことを自分の言葉でまとめましょう。
 - ⑤ 友だちの意見等で大切だと思ったことは、メモしておきましょう。
- 以上のことを守れば、テスト前に勉強するときに効率よく勉強できます。

- (3) 問題を解いていて、分からないときは、まず問題をもう一度読み返しましょう。
そのとき、「何を問われているのか」「分かっていることは何か」を読み取りましょう。
それでも分からなければ、友達に聞きましょう。
それでも分からないときは、先生に聞きましょう。

5 家庭学習のポイント

- (1) その日の授業で説明された問題はもう一度自分で解いてみましょう。
- (2) ノートや授業中に使ったプリント・ワークを見返しましょう。
- (3) 授業で出された宿題は必ず仕上げて提出しましょう。わからないところはそのままにせず、次の日に友達や先生に聞きましょう。
- (4) まとめを確認しましょう。まとめが書けなかったときには、授業を振り返って書きましょう。
もっと時間がとれる人は・・・次の授業でやるところの教科書を読んでおきましょう。一度読んでおくと、授業で説明された時、よりわかりやすくなりますよ。

数学は、同じ問題を繰り返し解くことで力がつきます。始めは基本的な問題から取り組みましょう。解き方を身につければ、文章題や応用問題もだんだん解けるようになっていきます。積み重ねが大事です。まずは、授業を集中して受けることからはじめ、意欲的に学習していきましょう。

理科シラバス

1 教科の目標

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 学習内容（教科用図書：大日本図書）

		1年 (3時間/週) (年間105時間)	2年 (4時間/週) (年間140時間)	3年 (4時間/週) (年間140時間)	
1 学期	植物の世界と種類 (28)	①植物の体のつくりとはたらき ②植物のなかま分け ③植物のなかま分けを考える	化学変化と原子分子 (42)	運動とエネルギー (40)	①力のはたらき ②物体の運動 ③仕事とエネルギー ④ジェットコースター
		物質のすがた (26)			①いろいろな物質 ②気体の発生と性質 ③物質の状態変化 ④水溶液 ⑤液体の正体は何だ
	身近な物理現象 (27)		①光の性質 ②音の世界 ③力と圧力	電気とその利用 (35)	自然界のつながり (10)
		大地の変化 (24)	①火山 ②地震 ③地層 ④大地の変動 ⑤震源はどこか		気象のしくみと天気の変化 (23)
	2 学期		地球と宇宙 (24)	①天体の1日の動き ②天体の1年の動き ③月と惑星の運動 ④太陽系と銀河系	
		3 学期		地球の明るい未来のために (16)	①自然環境と人間のかわり ②くらしを支える科学技術 ③たいせつなエネルギー資源 ④これからのくらしを考えよう

3 評価の観点および評価方法

観点	評価をする内容や規準	評価の方法
自然事象への 関心、意欲、態度	①学習内容に興味をもち、意欲的に取り組んでいる ②学習内容を日常生活と関連づけて考えている ③学習規律を守れている ④提出物を期限内に提出している	①授業(観察・実験) の取組 ②発言・発表 ③ノート ④学びマップ ⑤ワーク ⑥ワークシート(プリン ト・レポート) ⑦小テスト ⑧中間・期末テスト ⑨忘れ物 ⑩チャイム着席 等
科学的な 思考・表現	⑤自然の事物・現象について、根拠をもとに考えている ⑥観察・実験の結果について、考察(観察・実験結果 から考えること・わかること)し、表現している	
観察・実験の 技能	⑦観察・実験の基本操作を習得している ⑧観察・実験の結果を正しく記録・整理している	
自然事象に ついての 知識・理解	⑨自然の事物・現象について、基礎的・基本的な内容を理解している	

4 授業のポイント

- (1) 教科書・ノート・ファイル・ワークを忘れず持参する。
- (2) 積極的に発言(発表)する。
- (3) 説明や発言(発表)をしっかり聴く。
- (4) ノートには、
 - ①日付、気温、湿度、気圧を書く。
 - ②黒板の内容をそのまま写すのではなく、自分なりに工夫して書く。
 - ③疑問に感じたことや感心したこともできるだけ書く。
- (5) 聴く時と書く時を区別する。
- (6) 観察・実験は安全に注意して、協力して取り組む。
- (7) 提出物(ノート・学びマップ・ワーク・ワークシート等)を必ず提出する。
(A・B・Cの3段階で評価します)

5 家庭学習のポイント

- (1) 学習内容を毎時間小テストします。そのために、
 - ①必ず宿題をする。
 - ②学習した内容について、教科書をよく読んで理解する。
- (2) 学習内容について、インターネット等を活用して、さらに調べると良い。

6 理科室での注意事項

- (1) 理科準備室に許可なく入室しない。
- (2) 高価な器具、危険な薬品、ガラス器具等があるので、
 - ①騒がない。
 - ②走らない。
 - ③ふざけない。
- (3) (ガラス)器具を破損したり、薬品をこぼしたりした場合、自分達で片付けずに先生に伝えて指示に従う。
- (4) 理科室にある物は、勝手に触らない。
- (5) 理科室で「舐める」「食べる」ことはしない。
- (6) 理科室(机上)をきれいに保つために、
 - ①ゴミを床に捨てない。
 - ②机に落書きをしない。
 - ③机が汚れていたら雑巾で拭く。
 - ④消しカスやシャー芯はゴミ箱へ捨てる。

英語シラバス

平成31年度 土佐市立土佐南中学校

1. 教科の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

2. 学習内容 【教科書：1・2年：開隆堂 3年：東京書籍】

	1年(140時間)	2年(140時間)	3年(140時間)
一学期	Let's Start あいさつ・簡単な自己紹介 英語を聞いてみる 身の回りにある英単語の学習 英語を聞いたり使ったりする活動 PROGRAM1 アルファベット アルファベットの学習 Classroom English 教室で使う英語になれよう 辞書を引いてみよう PROGRAM2 アメリカからの転校生 PU1 単語・文の書き方 WW1 数の言い方 PROGRAM3 単語・文の書き方 WW2 曜日と天気の言い方 PU2 転校生への質問 PROGRAM4 リサイクル活動 MP1 自分のことを話そう PU3 英語の掲示・標識など PROGRAM5 国際フードフェスティバル PU4 時刻をたずねる 英語の仕組み①	Classroom English 英語を使ってみよう 辞書を読んでもみよう PROGRAM 1 Did You Enjoy Your Vacation? PU 1 W 連休の思い出 英語のしくみ ① PROGRAM 2 A Trip to Finland PU 2 L&S 天気予報と予定 PROGRAM 3 What Can We Do for Others? PU 3 S 電話①(依頼する・誘う) 英語のしくみ ② MP 4 スキット作りを楽しもう PROGRAM 4 Eigo Rakugo	・Classroom English ・辞書を使いこなそう PROGRAM 1 A History of Vegetables PU 1 L&S 旅行(機内で) PROGRAM 2 Volcanoes in Japan 英語の仕組み① PROGRAM 3 The 5 Rs to Save the Earth PU 2 S (道案内②電車の乗りかえ) 英語のしくみ② My Project 7 あの人にインタビューしよう PROGRAM 4 Faithful Elephants PU 3 W (お祝い・お祝いメール)
二学期	PROGRAM6 山紀のイギリス旅行 WW3 季節・月の名前と順番・日付 PROGRAM7 The Wonderful Ocean PU5 持ち主をたずねる PU6 ラジオ放送 英語の仕組み② PROGRAM8 Origami	PROGRAM 5 Gulliver's Travels PU 4 S ファーストフード店で PROGRAM 6 A Work Experience Program PU 5 L&W インタビュー記事を書く 英語のしくみ ③ PROGRAM 7 If You Wish to See a Change PU 6 S 道案内① 英語のしくみ ④	PROGRAM 5 Sushi-Go-Around in the World PU 4 S 電話②(伝言を受ける) PROGRAM 6 Let's Talk about Japanese Things. 英語のしくみ③ My Project 8 日本文化を紹介しよう PROGRAM 7 What Is the Most Important Things to You? PU 5 L (アナウンス(駅、空港な

	<p>PROGRAM8 Origami</p> <p>PU7 許可を求める・依頼する</p> <p>PU8 仮装パーティー</p> <p>MP2 人を紹介しよう</p> <p>PROGRAM9 A New Year's Visit</p> <p>PU9 想像しながら読んでみよう</p> <p>英語の仕組み③</p>	<p>PU 6 S 道案内①</p> <p>英語のしくみ ④</p> <p>MP 5 スピーチをしようーこんな人になりたい</p> <p>PROGRAM 8 Friendship across Time and Borders</p>	<p>PU 5 L (アナウンス (駅、空港など))</p> <p>PROGRAM 8 Clean Energy Sources</p> <p>PU 6 W ホームページで学校紹介</p> <p>英語のしくみ④</p>
三学期	<p>PROGRAM10 Mike's Visit to Washington, D.C.</p> <p>PU10 買い物① (Tシャツを買う)</p> <p>MP3 知りたい情報を引き出そう</p> <p>PROGRAM11 Grandma Baba and Her Friends on a Sleigh</p> <p>PU11 日記</p> <p>英語の仕組み④</p>	<p>PROGRAM 9 A Video Project</p> <p>PU 7 S 買い物② (シャツを買う)</p> <p>PROGRAM 10 So Many Countries, So Many Customs.</p> <p>PU 8 W&S 賛成意見・反対意見を言おう</p> <p>PROGRAM 11 Yui—To Share Is to Live</p> <p>PU 9 L 観光ガイドの説明を聞き取ろう</p> <p>英語のしくみ ⑤</p> <p>MP 6 CM を作ろうーこんなものがほしい</p> <p>PROGRAM 12 Her Dream Came True</p> <p>Extensive Reading</p> <p>Maria Talks about Her Life.</p>	<p>PROGRAM 9 Education First: Malala's Story</p> <p>PU 7 L (有名人の名言)</p> <p>Special Project (卒業に向けて一思いを伝えよう)</p> <p>Extensive Reading①</p> <p>After Twenty Years</p> <p>Extensive Reading②</p> <p>Mother Teresa</p> <p>Extensive Reading③</p> <p>The Hat</p>

3. 評価の観点および評価方法

観点	評価をする内容・規準	評価の方法
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語に対する関心を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	授業態度 (積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢) 提出物 (ノート、ワーク、プリントなど)
表現の能力	場面に応じた表現ができる。また、自分の考えを表現できる。	定期テスト スピーキングテスト (ペアでの対話・スピーチ)
理解の能力	文を作るうえで必要な基本を理解することができる。また、まとまりのある文を読んで内容を理解できる。	定期テスト (リーディング・リスニング)
言語や文化についての知識・理解	文の構造を理解している。また、取り扱われている文を通して各国の文化を理解している。	定期テスト 単語テスト

4. 授業での学習のポイント

- いろいろな友だちと積極的に関わしましょう。
→ 周りの人と豊かな人間関係を築くことができる力＝コミュニケーション力
- 間違いをおそれてはいけません。新しい表現を積極的に使ってみましょう。
… 最初から完璧に話せたり、書けたりする人はいません。どんどん使ってみることで知識が定着します。
- 教科書の単語、基本文、本文を読めるようにしましょう。
… 繰り返し音読する、正しい読み方を理解する
- ペアやグループで協力し支え合いましょう。
… 積極的に活動する、わからないところを教え合う
- 自分の思いや考えを「自分の言葉」で発信しましょう。
… 自分の考えをまとめスピーチで伝えたり、準備されたものではなく即興で伝える力
- ノート、ワーク、プリントや宿題にしっかりと取り組み、期限内に提出しましょう。

5. 家庭学習のポイント

【読む】

- 英文の意味を確認しましょう。
- 教科書の基本文や本文をすらすら読めるようになる（音読）まで繰り返し読みましょう。

【書く・話す】

- 単語：読めるようになった語を今度は、つづりを見て覚え、書けるかどうかノート等を書いて確認しましょう。（まちがいは赤ペン等で訂正する）
- 教科書の基本文・本文：1文ずつ①英文を読む、②覚える、③書くの3ステップで書きましょう。（まちがいは赤ペン等で訂正する）
- ワークやプリントの問題をノートなどに再度、解いてみましょう。（必ず解答を確認する）
- 英語で日記を書いたり、独り言を言ってみたりしてみましょう。（話す力がつきます）

音楽科 シラバス

1. 音楽科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2. 主な学習内容

	1年(全45時間)	2年(全35時間)	3年(全35時間)
1 学 期	・歌声を作ろう 「校歌」「青空へのぼろう」	・歌声をみがこう 「語りあおう」他	・歌詞の美しさを味わいながら歌おう 「花」「荒城の月」
	・言葉のリズムを生かして 「楽しいリズム曲をつくろう」	・パイプオルガンの響きを味わおう 「小フーガト短調」	・言葉の特性や曲想を生かした表現を 工夫しよう 「帰れソレントへ」「Top of the world」
	・物語と曲の変化を感じながら聴こう 「魔王」	・器楽(アルトリコーダー) 「浜辺の歌」「もみじ」	・郷土の民謡や芸能 「子守歌」「谷茶前」
	・器楽(アルトリコーダー) 「こげよマイケル」「エーデルワイス」	・日本の歌曲に親しもう 「浜辺の歌」「早春賦」「花の街」	・器楽(アルトリコーダー)
2 学 期	・日本の歌の美しさを味わおう 「赤とんぼ」「夏の思い出」	・器楽(三味線)	・合唱コンクールの取り組み
	・合唱コンクールの取り組み	・合唱コンクールの取り組み	・オーケストラの豊かな響きを味わおう
	・郷土の音楽に親しもう 「ソーラン節」他	・日本の伝統芸能や音楽に親しもう 雅楽「越天楽」 歌舞伎「勸進帳」	「ボレロ」 組曲「惑星」から第1曲「火星」
3 学 期	・器楽(箏) 「さくら」	・曲の構成を感じ取って聴こう 「交響曲第5番ハ短調」	・総合芸術に親しもう 「アイダ」
	・イメージをふくらませて聴こう 「春」	・器楽(アルトリコーダー)	・ギターの豊かな表現を味わおう 「アランフェス協奏曲」
	・全校合唱 「旅立ちの日に」	・全校合唱 「旅立ちの日に」	・全校合唱 「旅立ちの日に」

3. 評価の観点および評価方法

観点	評価をする内容や規準	評価の方法
音楽への 関心・意欲・態度	* 授業内容に興味をもち、意欲的に取り組めたか。	・学習態度 ・筆記テスト ・忘れ物、チャイム着席
音楽表現の創意工夫	* 音や音楽のよさや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫して生かすことができたか。 * どのように表すかについて思いや意図をもっているか。	・観察 ・実技練習及びテスト ・ワークシート
音楽表現の技能	* 音楽を表現するための基礎的な技能を身に付けているか。	・観察 ・実技テスト
鑑賞の能力	* 音楽に興味をもって聴き、そのよさや美しさを文章で表現することができるか。 * 多様な音楽に対する理解を深め、味わって鑑賞することができるか。	・観察 ・ワークシート

4. 授業での学習ポイント

①忘れ物をしない

音楽の時間に準備するもの

- ・教科書（学年の教科書と器楽の教科書）
- ・筆記用具
- ・リコーダー（必要なときは前の時間に指示をします）
- ・ファイル

※授業ではノートの代わりにプリントを使います。プリントはファイルにとじて保存します。ファイルは音楽室に置いておきますので、授業毎に持ってくる必要はありません。

②チャイム着席に気をつけましょう

音楽室は3階の東の端で遠いので、特にチャイム着席を守りましょう。それから、音楽室は上履きを脱いで入ります。上履きを廊下の端に一行にそろえて並べ、落ち着いて教室に入りましょう。

③積極的に取り組みましょう

音楽はまず、興味をもって聴きましょう。そして、歌や楽器を演奏することで自分や他の友達の表現を学びましょう。授業へ積極的に参加することが大切です。

5. 家庭学習のポイント

日頃から様々なジャンルの音楽に関心をもち、テレビやラジオから流れる音楽にも耳を傾けましょう。

美術科シラバス

平成31年度 土佐南中学校

1 美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成する。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 学習内容（教科用図書：光村図書）

※学習内容は変更されることがあります。

	1年(45)	2年(35)	3年(35)
1 学期 (16) (13)	スケッチ(4) 線や陰影を使ってスケッチをかく	ポスター(11) 南海トラフ地震に備えて、地域の人に呼びかけるポスターをかく	風景画(3) 校内の風景から主題を選び、かく
	絵文字(10) 身のまわりのデザインについて興味を持ち、文字と絵を組み合わせ、漢字の意味を伝える絵文字をかく		生活の中で役立つデザイン(9) 生活の中で使えるものをかく
	ポスター(1) 別紙の一覧表から1つ選択してポスターをかく〔夏休み課題へ〕		
2 学期 (16) (13)	水彩画(10) 主題を決めて自画像をかく 【子ども県展】	水彩画(10) 通学路の中から主題を見つけ、風景画をかく 【子ども県展】	水彩画(9) 自分のイメージを大切に、風景をかく 【子ども県展】
	鑑賞(3) 日本の美術や関連する美術に関心をもつ	鑑賞(3) 日本の美術のよさを味わう	彫刻(8) 心材を使って粘土で「輝く自分」をつくる
3 学期 (13) (9)	工芸(6) 紙を材料にして使うものをつくる	工芸(6) 誰かのためのやさしいイス(ミニチュア)をつくる	鑑賞(3) 西洋の美術に関心を持ち、味わう
	工芸(1) 卒業を祝って紙の花をかざろう		

3 評価の観点および評価方法

観点	評価をする内容や規準	評価の方法
美術への 関心・意欲・態度	学習内容に興味をもち、意欲的に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度 ・ ワークシート ・ アイデアスケッチ ・ 制作過程 ・ 制作した作品 ・ 忘れ物 ・ 発言や発表内容 ・ 期末テスト(鑑賞)
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことをもとに、豊かな構想を練ることができている	
創造的な技能	自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができている	
鑑賞の能力	感性や想像力を働かせて、美術のよさや美しさなどを感じ取り、味わったり理解したりできている	

4 準備物

- (1) 教科書、ファイル、筆記用具、制作に必要なもの(水彩絵具、ポスターカラー、筆など)
- (2) 1年生は、ポスターカラーセット(14色・筆・パレット)を購入します。

※準備物は筆記用具以外、美術室に保管します。また、制作中の作品も美術室に保管するので、必ず記名する。

5 授業のポイント

- (1) 授業に必要なものを忘れず持参する。
- (2) 準備や片付けは、協力して取り組む。
- (3) 話を聴く時と活動する時を区別する。
- (4) より良い作品を目指して制作する。
- (5) 作品に愛着をもち、大切にする。
- (6) 友達とコミュニケーションとりながら、互いの作品の良さや個性などを理解し合う。

6 家庭学習のポイント

- (1) 身のまわりのものをよく観察したり、スケッチしたりして、良さや美しさを見つける。
- (2) 身のまわりにあるデザインされたもののよさや使いやすさを味わいながら使う。
- (3) 日頃から様々な美術にふれ、沢山感動し、感受性や表現力を育てる。

7 美術室での注意事項

- (1) 美術準備室には許可なく入室しない。
- (2) 作品、道具等があるので、
 - ①騒がない。
 - ②走らない。
 - ③ふざけない。
- (3) 道具を破損したり、液体をこぼしたりした場合、自分達で片付けずに先生に伝えて指示に従う。
- (4) 美術室にある物や他人の作品は、勝手に触らない。
- (5) 持ち物には名前を書き、整理整頓して保管する。
- (6) 美術室(机上)をきれいに保つために、
 - ①ゴミを床に捨てない。
 - ②机に落書きをしない。
 - ③机が汚れていたら雑巾で拭く。
 - ④消しカスやシャー芯はゴミ箱へ捨てる。

技術分野シラバス

平成31年度 土佐南中学校

1 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

2 学習内容 ※技術分野と家庭分野は1年間の半分ずつの期間を設定し、学習を行います。

1年	材料と加工	生活に役立つ木製品を設計し製作します。製図の練習と用途に応じた設計作業をしてから、製作実習を行います。
2年	エネルギー変換	電気エネルギーを使用する製品としてテーブルタップ、手押しハンドラジオを製作します。
	生物育成	作物の種類とその生育について学習します。作物の特徴にあわせた栽培方法を学び、病気や害虫に注意して作物を育てます。
3年	情報	主にインターネットを利用して、自ら興味をもつテーマについて必要な情報を集め、整理してレポートにまとめます。

※1年(前期)・2年(後期)・3年(前期)は家庭科を学習します。

3 評価の観点、評価規準、評価方法

評価の観点	評価規準	評価方法
生活や技術への 関心・意欲・態度	①技術について関心をもっている ②まじめな態度で授業や実習に取り組んでいる	授業中の様子 発言(発表)内容 ノート 作品 テスト 授業評価(質問紙法) 忘れ物 ベル着席 等
生活を工夫し 創造する能力	③学習や実習の中に課題を見つけ、その解決をめざしている いろいろな方法を自分なりに工夫している	
生活の技能	④生活に必要な基礎的な技術を身に付けている	
生活や技術に ついての 知識・理解	⑤技術についての基礎的な事柄や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識を身に付けている	

※評価方法については学年によって多少異なります。

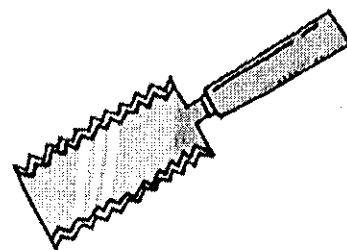
4 授業のポイント

技術分野の学習では自分で考え、工夫しながら作業を進めていくことが大切です。例として「のこぎりで板を切断する作業」について考えてみましょう。

のこぎりで板を切る場合、ただ単にのこぎりに力を入れて前後に動かせば、簡単にできるような気がしませんか。しかし、実際はそう簡単ではありません。のこぎりをひく角度、微妙な力の入れ方と抜き方、材料に応じた適切な刃の選択など、さまざまなことをよく考え、試行錯誤を繰り返しながら身に付けていかなければ、作業はなかなかうまくいかないものなのです。

このように、それぞれの作業の中にも、自分で課題を見つけ、試行錯誤しながら工夫して、作業を進めることがとても重要になります。

また、みなさんの中には「ものを作ったりすることは苦手だ」「ものを作るのは得意だけれどコンピュータは苦手」というような人もいるかもしれません。しかし、よく考えて丁寧に作業を進めていけば、思い出に残る大切な作品ができます。苦手なこともあきらめずに一緒に頑張ってみましょう。



家庭分野シラバス

1. 教科の目標

生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、自分自身や家族との生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んでよりよい生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てることをねらいとしています。

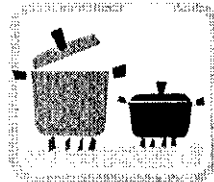
家庭分野の目標

衣食住・消費生活などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

2. 主な学習内容 ※学習内容は半年ごとに交代します。

中学校では、家庭分野は大きく分けて次の内容について勉強します。

- A 家族・家庭と子どもの成長
- B 食生活と自立
- C 衣生活・住生活と自立
- D 身近な消費生活と環境



前期：4月～10月中旬
後期：10月下旬
～3月中旬迄

	1年（全35時間） 家庭分野は前期	2年（全35時間） 家庭分野は後期	3年（全18時間） 家庭分野は前期
学習内容	ガイダンス 家庭と家族関係 子どもと家族や周囲の人々 子どもと家族のかかわり 子どもの成長を支え合う わたしたちの消費生活 消費者としての自覚を持つ 持続可能な社会へ向けて 衣生活と自立 衣服の働きと目的に応じた着用 衣服の手入れ よりよい衣生活を目指して 生活を豊かにするために 環境を考え生活を豊かにするための製品づくり 住生活と自立 快適に住む 住まいと環境 安全に住む	環境とつながる消費活動 生活に必要な物資とサービスの選択 わたしたちの食生活 食生活と栄養 献立作りと食品の選択 加工食品の選び方 食品の加工方法 地域の食材に注目しよう 調理の基礎 調理実習 地域の食材を見つめよう	家庭と家族関係 家庭や家族の機能 地域とのかかわり よりよい家族関係 幼児の生活と家族 遊びと発達 幼児の成長 体の成長 心の成長 生活習慣を身につける 幼児との交流 保育園に行ってみよう 交流記録を作ろう 生活の課題と実践 3年間の学習をもとに、課題を見つけて解決しよう
後期	技術分野を学習します。	上記内容を学習します。 前期は技術分野です。	後期は技術分野です。

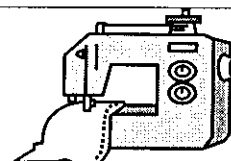
3. 評価のしかた

4つの観点で評価をします。学年末の成績は技術の評価とあわせてつけます。

	評価の観点		評価方法
I	生活や技術への 関心・意欲・態度	衣食住や家族の生活について関心を持ち、家庭生活をよりよくするために知識と技術を進んで活用しようとする。	○学習・実習への取組み ○ワークシート・実習計画等への記入 ○課題への取組み・提出
II	生活を工夫し創造 する能力	衣食住や家族の生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造する。	○既習事項の活用 ○製作方法、課題解決における工夫 ○実習レポート、テスト
III	生活の技能	生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技術を身に付けている。	○実習・製作の技能 ○学習内容や基礎技術の説明方法 ○実技テスト ○実習レポート 等
IV	生活や技術について の知識・理解	家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身に付けている。	○学習した内容の理解度 ・ペーパーテスト ・小テスト ○実習レポート

4. 授業の受け方のポイント

その1：授業に必要な道具を忘れない



- ・実習の時には、教科書・ワーク・筆記用具以外に必要なものが事前に連絡されるので、必要なものは必ず持参する。
- ・授業中はよく集中し、説明を聞く。実技の際には、安全に十分注意をはらい、落ちついて学習に取り組む。

その2：1時間1時間の授業を大事に

家庭分野の授業は、週に1度（2時間）しかありません。一人ひとりが授業のめあてを理解し、授業の最後に自分のことばで学習したことをまとめます。めあてや各時間の目標を達成するよう、自分から学習に集中し取り組みます。積極的な学習は学んだことを生活と結びつけたり、活用したりする力を伸ばすことにつながります。

家庭分野は針やはさみ、包丁を使うなど実習も多い教科です。安全には十分注意し、基礎・基本をしっかりと習得できるよう、落ち着いた態度で一緒にがんばっていきましょう。

※必要に応じてワークや作品を点検します。毎時間の授業の中できちんと記入をすることが大切です。「聞く・書く・考える・実際に行う」にけじめをつけ、楽しい家庭分野の授業をつくっていきましょう。

保健体育科シラバス

1. 教科の目標

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

2. 主な学習内容

保健体育の年間学習計画

月	学習単元【男子】	月	学習単元【女子】
4	オリエンテーション (3) 体づくり運動 (6)	4	オリエンテーション (3) 体づくり運動 (6)
5	スポーツテスト マット運動 (1 2)	5	スポーツテスト マット運動 (1 2)
6	水泳 (1 2)	6	水泳 (1 2)
7		7	
9	体育に関する知識 保健 (9)	9	体育に関する知識 保健 (9)
10	武道 (6)	10	武道 (6)
11	陸上競技 (1 2)	11	陸上競技 (1 2)
12	持久走・マラソン (9)	12	持久走・マラソン (9)
1	ダンス (6) 球技 (6)	1	ダンス (6) 球技 (6)
2	体育に関する知識 保健 (1 2)	2	体育に関する知識 保健 (1 2)
3	ベース型 (6) ニュースポーツ (6)	3	ベース型 (6) ニュースポーツ (6)
	合計 105時間		合計 105時間

3. 評価の観点としかた

保健体育科の学習は、体育分野だけではなくありません。保健分野もあります。運動だけであれば良いというわけではなく、知識・理解、思考・判断の力も大切になります。また、定期テストだけでなく、毎時間の授業に対する取り組みも大切です。

観点	評価をする内容や基準	評価の方法
【関心・意欲・態度】 自ら進んで運動を実施し、楽しさ、喜びを味わうことができる。	○服装、見学 ○忘れ物 ○リーダー性 ○取り組み状況	観察（活動の記録）
【思考・判断】 活動の工夫、健康安全について考え、判断することができる。	○行動観察（発言等） ○動き・安全等	観察（活動の記録）
【技能】 運動の楽しさや喜びを味わうために必要な技能や行い方を身につけている。	○技能の習得状況	技能テスト
【知識・理解】 運動や健康安全について理解し、知識を身につけている。	○基礎・基本事項 ○テスト ○技能の知識 ○ルール	定期テスト ノート提出

4. 授業のポイント

- ① 積極的に身体を動かし、運動後の心地よさを体感しましょう。
- ② 自分の体力・運動能力を知りましょう。
- ③ 自分の身体の健康や調子に興味・関心を持ちましょう。
- ④ 身近な運動やスポーツに興味・関心を持ちましょう。

- ① チャイムまでに整列しておき、体操ができるようにしましょう。
- ② 準備、後かたづけは積極的に協力して行いましょう。
- ③ 体操、ストレッチ、補強運動のときなど、かけ声をしっかり出しましょう。
- ④ 服装はシューズ等、忘れ物はないようにしましょう。忘れた場合は教科の先生に前もって連絡し、借りておきましょう。
- ⑤ 体操服を着ていないと、授業に参加することができません。
- ⑥ 見学者も体操服に着替えましょう（特別な理由をのぞく）
- ⑦ 理由があって見学する場合は見学届を提出しましょう。

5. 家庭学習のポイント

- ・家庭では家の中ばかり居らず、外で身体を動かすこと。
- ・水泳では、遊泳禁止区域では、泳いではいけませんが、泳いで良い所では、水に親しもう。

めざせ！ノートの達人！

ノートは、あなた自身の学習の「足あと」です。しっかりと考え、授業内容をまとめたノートは、学習内容を確認したり、自分や友達の「気づき」や「考え」を振り返ったりできる貴重な「参考書」になります。下表を参考にして、自分自身のオリジナルのノートをつくっていきましょう。

すべての教科に共通するポイント	
①学習した「日付」と「めあて」を書きましょう。 ②文字は誰が見ても分かるように、ていねいに書きましょう。 ③重要な語句(ポイント)は、色ペン、アンダーライン、文字囲み、吹き出し等で分かりやすくしましょう。 ④間違えた解答は、消さずに残しましょう。 ⑤授業の終わりには必ず「まとめ」を書きましょう。 ⑥他の人の良い意見等はペン(青)で書き足しましょう。	
各教科のノートづくりのポイント	
国語	○話し合われたこと(友だちの意見)も書き留めておきましょう。 ○1時間の授業の流れが思い出せるようなノートづくりに挑戦しましょう。
社会	○授業の中でこれは重要だ・必要だと思ったことは、ノートやワークシートの余白を利用して書き込んでおきましょう。
数学	○計算式を書くときは途中の式も書きましょう。 ○計算式の＝(イコール)は縦にそろえて書きましょう。 ○問題を解いたら、丸付けをし、間違いは消さずに赤ペンで直しましょう。 ○わかったことや大切だと思ったことを自分の言葉でまとめましょう。 ○友だちの意見等で大切だと思ったことは青ペンでメモしておきましょう。
理科	○黒板の内容をそのまま写すのではなく、自分なりに工夫して書きましょう。 ○疑問に感じたことや感心したことをメモしましょう。
英語	○黒板に書かれたことだけではなく、先生が説明したことや自分が気のついたことなどをノートに書き留めておきましょう。
家庭学習 自主学習 ノート	○一番上に日付、教科名、家庭学習のめあてなどを書きましょう。 ○教科や目的に応じて、ノートの使い方を工夫しましょう。 ○問題をどんどん解く場合は、何ページの問いの何番かきちんと書きましょう。 ノートを3～4分割して利用し、問題文は書かないようにしましょう。 問題を解いた後は、必ず答えあわせをし、間違えた原因を調べて書きましょう。 (例：問題文をよく読んでいなかった。計算ミス等) ○計算問題を解く場合は、途中の計算式も記入しましょう。 ※家庭学習は自分の学習の到達度(何が分かっている、何が分かっているか。自分の苦手な問題は何か。)を知ることにとっても良い方法です。しっかりと学習に取り組みましょう。

家庭学習（自主学習）について

1 家庭学習の原則

(1) 環境を整える

家庭学習を行うための一番の基本は、「机に向かうこと」です。テレビを見ながら、音楽を聴きながら取り組むと、学習効果はありません。静かに集中できる環境をつくりましょう。

(2) 時間を確保する

効果的な家庭学習は、できるだけ決まった時間に、計画的に学習することです。学校と同じように1時間程度の学習をしたら10分間休憩をとることも良いでしょう。1日6時間程度の睡眠時間もしっかりと確保し、毎日必ず学習に取り組むことで家庭学習の習慣・リズムが定着します。

(3) 継続する

定期テスト週間になってから、あわてて学習を始める人がいます。しかし、急に覚えたことは、早く忘れてしまいます。学習内容が定着するように、毎日、少しずつ取り組みましょう。

(4) めあて(到達目標)を決める

めあて(到達目標)を決めて学習できると自信に繋がります。学習内容に応じて、「何時まで、何ページまで、何番まで、分かるようになるまで、できるようになるまで」と決めて取り組みましょう。

2 家庭学習（自主学習ノート）の方法

教科や内容によって学習する方法があります。自分に適した学習方法を見つけ、取り組みましょう。

方法	学習方法
まとめる学習	<p>①教科書をまとめる、写す。(予習) 次の時間の学習内容を読んでまとめておき、理解できた・できなかったところをはっきりさせておくと、授業の内容が理解しやすくなります。</p> <p>②学習した内容をまとめ直す。(復習) 学習した内容を思い出しながらノートにまとめ直すと、理解不十分なところがはっきりします。不十分なところをポイント絞って復習できます。</p>
覚える学習	<p>①漢字や英単語等を繰り返し書いて覚える。(予習・復習) 初めに間違えて覚えた内容は、修正するのに苦労します。必ず教科書や辞書等で確認をして、初めから正しく覚えましょう。</p>
試す学習	<p>①問題をたくさん解く。(復習) 基本的な問題を繰り返し解いて、早く正確にできるようになると、応用問題に取り組めるようになります。必ず答え合わせをして、間違えた原因を確認し、克服しましょう。</p>

キャリア教育・進路指導

1 キャリア教育

学校教育では、キャリア教育が重要視されています。キャリア教育とは、一人一人が、将来、社会へ出たときに、自分自身で考え、働いていくために必要な能力や態度を身につけるようにすることです。そのために、高知県では次の3つの力をつけることとしています。

学力向上	基本的生活習慣の確立	社会性の育成
○自分で考え、自分から学ぶ力を育てる。 ○思考力や判断力、表現力を育てる。等	○規則正しい生活リズムをつくる。 ○ルールを守る気持ちを育てる。等	○コミュニケーションの能力を育てる。 ○将来を見通す力、自他を大切にすする心の育成。等

キャリア教育は学校と家庭が連携をして取り組む必要があり、中学校では、各教科や領域(道徳や特別活動等)、学校行事等において、これらの育成する学習内容に取り組んでいます。

《保護者の皆さまへ》

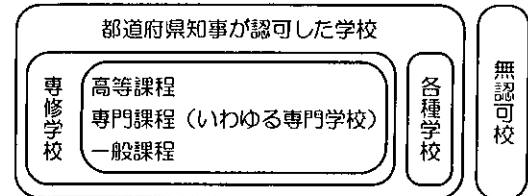
キャリア教育は、学校だけで行うものではなく、地域、特に保護者が生徒の将来を見据えて推進していくことが重要です。次のことを意識して、家庭での実践をお願いします。

- 1 生徒自身に自分で考えさせて、行動させる
自立の第一歩になるものです。そのために、家の手伝い等を生徒にさせる、雨でも徒歩・自転車で登下校させる等の取り組みを家庭でもお願いします。
- 2 基本的な生活習慣を身につけさせる
早寝・早起き・朝ご飯を合言葉に、朝起きる・夜寝る時間を生徒まかせにせず、規則正しい生活リズムを身につけさせてください。特に、朝ご飯はしっかりとらせてください。
- 3 あいさつをすすんでさせる
「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」と状況に応じて対応できるよう、家庭でも習慣づけをお願いします。
- 4 学習環境づくりをする
家庭学習する時間は、TV・ゲームを消す、スマホ・携帯電話を近くに置かない等、集中して学習できる、落ち着いた学習環境づくりをお願いします。

2 進路指導（進学を中心に）

中学校卒業後の進路は大きく「進学」と「就職」の2つに分かれます。進学は、次の①～④があります。

- ①（県立・市立・私立）高等学校への進学
- ②国立高等専門学校（高知工業高等専門学校等）への進学
- ③専修学校への進学
- ④その他の教育機関（各種学校や職業訓練校等）への進学



ここでは、全日制(中学校と同様に、朝から夕方まで授業のある学校)の(県立・市立)高等学校の入試制度について説明します。現行の入試では「受検は、基本的にA日程1回勝負」という制度です。

※私立・公立(国立・県立・市立)を含めた入学者選抜を受験、公立の入学者選抜を受検と表記しています。

(1) 日程等（日程以外は未発表、日程以外は前年度の入試要項から抜粋）

	A日程	B日程
実施の有無	全ての公立高等学校で実施	A日程での合格者が入学定員に満たない高等学校(学科)のみ実施するので、希望する高等学校(学科)が、実施しない場合があります
入学定員	入学定員の100%	不足した入学定員数
期日	平成30年3月5日(月)・6日(火)	平成30年3月22日(木)
学力検査	5教科(国語・社会・数学・理科・英語) ←問題には、思考力や表現力を重視した問題が含まれます。 また、学科によって実技検査があります。	
時間	各教科50分間	各教科30分間
面接	受検生1人に面接官3人程度で、約6分間の口頭式問を実施する。	
出願提出書類	①入学願書(受検生が自書し、中学校を通じて提出) ②志願理由書(受検生が自書し、中学校を通じて提出) ③調査書(中学校が作成し提出)	

(2) その他の日程

B日程の合格者が入学定員に満たない場合は、C日程が実施されます。また、全日制以外には、定時制(昼間に働きながら、夜間に授業のある学校)や通信制(家庭での学習を中心に、週に1~2回だけ授業のある学校)等があります。

(3) 合否について

入試の合格・不合格の判定は、学力検査の点数だけでは決まりません。高等学校は、義務教育ではありません。つまり、次の①～④を総合して「高等学校で進級・卒業できるかどうか」を基準に合格・不合格を判定します。

- ①学力検査：中学校3年間の学習内容から出題されます。学力検査の点数は、合格発表後、開示請求により知ることができます。つまり、一定の点数に達しているかどうか重要です。
- ②面接：服装、態度、志願する理由、自分をアピールできることから(中学校で学んだこと等)、将来の目標、体験入学や高校説明会の感想等を口頭試問されます。
- ③志願理由書：受検生が、将来の目標をもとにした志願する理由、自分をアピールできることからを分かりやすく丁寧な字で記述したもので、面接時に参考にされます。
- ④調査書：中学校3年間の成績、出席状況、表彰内容(部活動等の大会・学校行事)、生徒会活動やボランティア活動等を細かく記録しています。

(4) 調査書について(次ページ参照)

調査書は、中学校が作成し高等学校へ提出します。主に次の①～⑥が記入されています。

①各教科の学習の記録

9教科の評価を、1・2年は5段階、3年は10段階で記入します。ただし、学力検査のない4教科(音楽、美術、技術・家庭、保健体育)の評定は、20段階にして合否判定されます。また、3年は、観点別学習状況(通知表の○・△を記入している項目)をA・B・Cで記入します。

②総合的な学習の時間の記録

各学年での取り組んだ内容、状況や態度について記入します。

③出欠の記録

各学年での出席、欠席、遅刻、早退の状況とその理由を記入します。

④特別活動の記録

各学年での、学校行事・生徒会(専門委員会)活動・ボランティア活動・係の仕事の様子等について記入します。

⑤行動の記録

3年生の「基本的生活習慣は身につけているか」「思いやりをもって協力することができているか」等、10項目について、該当する場合○を記入します。

⑥総合所見

担任の先生が、みなさんがどのような人物なのか、学校生活全般(授業態度・掃除・係りの仕事・自主学習ノート等)をもとに、良いところを記入します。

(5) 合格に向けて

合格・不合格は、学力検査や面接だけでなく、中学校3年間で「頑張ってきたこと」を中心に総合的に判定されます。つまり「3年生になって学習だけ頑張れば良い」ではありません。入学したときから進路に向けた取り組みは始まっています。進路を実現するために、次の①～③を頑張りましょう。詳しいことは、進路の学習で学習します。

①学力を向上させよう

高等学校に進学後も進級・卒業できるように、中学校の学習内容を定着・向上させる必要があります。

②基本的な生活習慣を身につけよう

遅刻・欠席・早退が多かったり、ルールやマナーが守れなかったりすると、高等学校に進学しても進級・卒業できないと判断され、不合格になりことがあります。

③将来の目標をもとう

将来の目標を持っている人は、何事にも前向きに取り組むことができます。高等学校の先生も、卒業後を視野に入れて指導するので、将来の目標をもとにした志願理由が必要です。



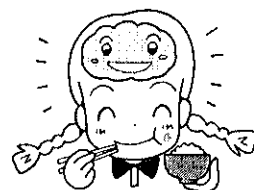
平成31年度 高等学校入学志願者調査書

受検番号		平成 年 月 日		卒業又は卒業見込みの年 月		平成 年 月		卒業、卒業見込み	
志願先		志願者		氏名		ふりがな		現住所	
高等学校()分校		第1志願		第2志願		全日制 多期間 定時制		学年	
国語		社会		数学		理科		音楽	
1年 (1991)		2年 (1992)		3年 (1993)		I		II	
3年 (1993)		I		II		III		IV	
V		第3学年【第9学期】の観点別		学習の状況		外国語		家庭・体育	
各教科の学習の記録		総合的な学習の時間の記録		その他の活動の記録		家庭・体育		外国語	
特別活動の記録		1年 (1991)		2年 (1992)		3年 (1993)		出欠の記録	
行動の記録		第3学年【第9学期】の状況		1年 (1991)		2年 (1992)		3年 (1993)	
基礎的・基本的な能力		体力・向上		自主・自律		責任感		創意工夫	
思いやり・協力		生命・尊厳・愛・護		勤労・奉仕		公正・公平		公共心・徳心	
記載事項に相違ありま定ん		平成 年 月 日		校長氏名		記載者氏名		印	
記載者氏名		印		印		印		印	

健康管理について

みなさんはそれぞれに大きな可能性を秘めています。そして、これから自分の夢に向かって歩いていくことでしょう。その夢をかなえるには、やはり健康な心と身体が大切です。

中学生である皆さんは、一生のうちで心身ともに最も成長する時期にいます。その大切な時期に、よりよい生活リズムを身につけ、学校生活を意義あるものにしてください。そして、将来にわたり健康に過ごしていくための基礎をしっかりとつくっていきましょう。



1 食べることは生きること

大切な朝ごはん

人間は、寝ている間にもエネルギーを使っています。脳は、そのエネルギーであるブドウ糖を蓄えることができないので、常に食事から補給することが必要です。でも朝の空っぽの体には、送るエネルギーがありません。脳や体が午前中に活動するために新しいエネルギーをとらなければなりません。



そのためには朝食が、エネルギー源です。ご飯にみそ汁・のり・小魚、パン食でしたら、パン・牛乳・サラダ・たまご等々、元気に過ごすためにもしっかり朝食を食べましょう。

朝、食欲がない時は・・・

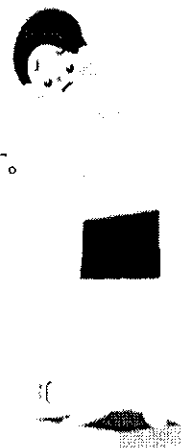
起きてすぐ水や牛乳、野菜ジュースを飲むと胃が目覚めます。すっぱいものも効果的。梅茶やオレンジジュース、ヨーグルトドリンクなど酸味のあるものは胃液の分泌を促してくれます。



やせすぎと太りすぎ

「やせ願望」の低年齢化が気になるところです。間違ったダイエットをすると、身体の機能に障害（無月経・脳の萎縮等）が生じたり、骨が折れやすくなったりします。急激なダイエットは危険です。

また逆に肥満は、高血圧や心肺機能の低下、高脂血症などの病気を引き起こします。生活習慣を見直して、必要な栄養をきちんと摂るようにしましょう。



- * あなたが太りすぎているかどうかの簡単な目安は
自分の身長－100<自分の体重
- * 身長から100引いた数値より自分の体重が多ければ、
保健室の先生に相談してみましょう。

2 成長に大切な眠り

人間は日中に活動し、夜は休むのが生活の基本です。その基本の睡眠リズムが乱れると、身体の不調が現れやすくなってきます。皆さんの成長にとっても大切な「成長ホルモン」は、睡眠中に出てきます。夜更かしせずに睡眠を十分とりましょう。

朝は気持ちよく起きよう

誰に起こされることもなく、自分で起きることを自立起床といいます。十分な睡眠をとっていれば、自然に目覚めるはずのものです。一日のスタートを気持ちよいものにするために、まず自分で起きるようにしましょう。

朝、すっきり目覚めるために

- ・昼間はなるべく身体を動かそう。
- ・夜はせめて11時までには寝よう。
- ・寝室は暗くして、静かな環境で寝よう。
- ・くよくよ考えずに、ゆったりとした気分で床につこう。
- ・カーテンは薄手にして、朝日が目に入るようにしよう。



3 身体を動かそう

「運動」というと、スポーツを連想しますが、身近なところで体力をつける方法は色々あります。柔軟体操や、ジョギング、少しの時間を見つけて散歩など積極的に身体を動かしてください。昼休みなど、運動場にていい汗を流しませんか？

4 心を元気に

皆さんは色々な友だちと一緒に生きています。非常に元気で明るく青春を楽しんでいる友だち。おとなしいけれどしっかりしている友だち。ひっこみじあんで友だちとの関わりが苦手な友だち。心が温かく包み込んでくれるような友だち。強そうに見えても案外神経質で回りを気にする友だち。すごく甘えん坊な友だち。もくもくとマイペースに人生を送っている友だち。分かっているけど行動が伴わない友だち。その他、まだまだ色々な友だちが一つの教室で学んでいます。そんな中、挫折感を味わったり落ち込んだり、そして乱暴な言葉を発して自分をアピールする友だちもいるかもしれません。でも、一人ひとりとは純粋で、みんな精一杯生きたいと思っているのではないのでしょうか。

どうか、関わりを大事に、しんどそうな友だちには特に声をかけてあげてください。あなたからのメッセージを待っているかもしれません。

そして、もし、「いじめ」等でしんどい思いをしているあなたは、勇気をもって信頼できる友だちや先生、そしてお家の人に相談してください。

また、学校にはスクールカウンセラーの先生も来てくれます。絶対ひとりではないと信じてください。きっと何かが見つかると思います。

心も身体も元気な土佐南中学校の生徒でいてください。



15 (2) 土佐市立土佐南中学校 【生徒心得】



集団生活には、守らなければならないいきまりがあります。次に掲げる事項をよく理解し、互いに楽しい学校生活を送れるように心がけましょう。

1 通学・外出 ～交通ルールを守り、安全に注意しよう～

- (1) 定められた通学路を安全に注意して登下校しよう。
- (2) 交通ルールを遵守し、他の交通の妨げにならないようにしよう。
- (3) 定められた時刻（遅刻の限界 8：25）を守り登下校しよう。
- (4) 余裕をもって家を出、下校時は寄り道をしないようにしよう。
- (5) 自転車通学許可証（ステッカー）を自転車に必ず貼る。
- (6) 決められた自転車小屋に整頓して施錠する。
- (7) 登校後の外出は原則として認めない。

2 校内生活 ～明るく、素直に、規律ある生活をしよう～

(1) 学習

学力を高めるために、最大限の効果を上げるために、次の事柄を心がけよう。

- ・ 学習に必要なものを準備する。（忘れ物をしない）
- ・ チャイム着席する。
- ・ 授業に集中する。
- ・ 「聴く力」「話す力」のレベルを意識して、自分の考えを発表する。
- ・ 授業中に先生が話す学習のポイントを聞き逃さず、工夫してノートづくりをする。
- ・ 自学ノートや宿題などの家庭学習を毎日確実にやり、授業に備える。
- ・ 自分から進んで係りの仕事や委員会活動に参加しよう。

(2) 休み時間

- ・ 授業後は次の授業の準備をしてから休み時間にする。
- ・ 係りの仕事を忘れない。
- ・ 廊下は走らない。
- ・ 他学年の教室には行かない。

(3) 集会

- ・ 集会の際には静かに、速やかに教室前に整列し、無言で体育館に移動する。

(4) 給食

みんなで気持ちよく食事ができるように、互いに気をつけよう。

給食当番は必ずエプロン・三角巾を着用し、衛生に気をつけよう。

（⇒マスクは着用期間として、指定された期間のみ）

(5) 仲間づくり

- ・ 人の気持ちを思いやり、互いに助け合い、高め合おう。
- ・ お互いの考えや意見を認め合おう。
- ・ 励まし合いながら、最後までやりとげよう。
- ・ 相手に共感したり、意見を比較したりしながら、他の人の意見を聴こう。
- ・ 目標達成に向けて、自分たちが見つけ出した課題を解決するために必要な方法や協力の仕方を考え、全員で行動しよう。

(6) 所持品

- ① 学習に必要な物や学校で決められた物以外は持って来ないようにしよう。
 - ・携帯電話については、やむを得ず持参する者は必ず事前に届け出をすること。（持参許可書）
 - ・登校後は必ず担任に預け、放課後に受け取る。
 - ・無断持参の場合は、学校で一時的に預かり、その後保護者に返却する
- ② 落とし物をしたり、拾い物をしたりしたときは、直ちに先生に届け出よう。

(7) 部活動

- ・相互に信頼と友情をもち、活動しよう
- ・放課後直ちに活動に入れるよう心がけよう。
- ・持ち物（カバン・バッグ等）は全て活動場所に持って行こう。
- ・定められた時間を守り、使用した用具はしっかりと片付け、使用した場所の美化に努めよう。
- ・活動終了後は、直ちに下校しよう。

(8) 教室・施設・設備の利用

- ・登校後、靴は定められた場所に入れよう。
- ・教室は常に学習の場としてふさわしい環境を保つよう、自分の荷物はロッカーなどに整頓しよう。
- ・特別教室・体育館を利用するときは、それぞれの使用の注意を守って使用しよう。
- ・校舎・備品は大切に扱おう。誤って破損したときは速やかに届け出よう。
- ・私たち自身の利用する学校を、協力して美化に努めよう。

3 服装・頭髪

学校は集団生活を通して学習や人間関係づくりなどを学ぶところです。十分な学習効果を上げるためには、落ちついた学習環境と全員が集中して取り組む学習環境が必要です。

良い学習環境は、生徒一人一人の自覚によって作り上げられます。

【男子】

上 着	冬 服	・ 黒色，詰襟服（標準型）の学生服で，左襟に校章のマーク入り。 ・ 白色のカッターシャツ（標準型）で，左襟に校章のマーク入り。 ・ 学生服着用時に，カッターシャツの上にセーター，ベスト，トレーナーは着用可。ただし色は灰，紺，黒のみとする。
	夏 服	・ 白色のカッターシャツ（標準型）で，左襟に校章のマーク入り。
	*原則制服で登校し，生活する。 ・ 行事の関係で「体操服登校」を別途指示する場合がある。	
ズボン	・ 標準のストレート型（ワンタックまでは認める）。 ・ 校章のマーク入り。	
ベルト	・ 黒または茶。	
ソックス	・ 白，黒，紺の無地。ワンポイント程度は認める。 ・ 儀式的行事（入学式，始業式等）は白とする。（違反服装の場合は脱ぐ）	

【女子】

上 着	冬 服	<ul style="list-style-type: none"> ・紺色のブレザー，左襟に校章のマーク入り。 ・白色のカッターシャツ（標準型）で，左襟に校章のマーク入り。 ・エンジのリボンを結ぶ。 ・カッターシャツの上（ブレザーの下）に，制服用ベストの着用。地味な色のVネックのベスト，セーターも着用可。ただし、色は灰，紺，茶，黒のみとする。
	夏 服	<ul style="list-style-type: none"> ・白色の半袖カッターシャツ（標準型）で，左襟に校章のマーク入り。 ・リボンはつけない。
<p>*原則制服で登校し，生活する。 行事の関係で「体操服登校」を別途指示する場合がある。</p>		
スカート	<ul style="list-style-type: none"> ・標準型紺色のひだスカートで，校章のマーク入り。 ・スカート丈は，膝が隠れる長さを規準とする。 	
ソックス	<ul style="list-style-type: none"> ・白，黒，紺の無地。ワンポイント程度は認める。 ・儀式的行事（入学式，始業式等）は白とする。（違反服装の場合は脱ぐ） ・ストッキングはベージュ色，黒，紺とする。（違反服装の場合は脱ぐ） 	

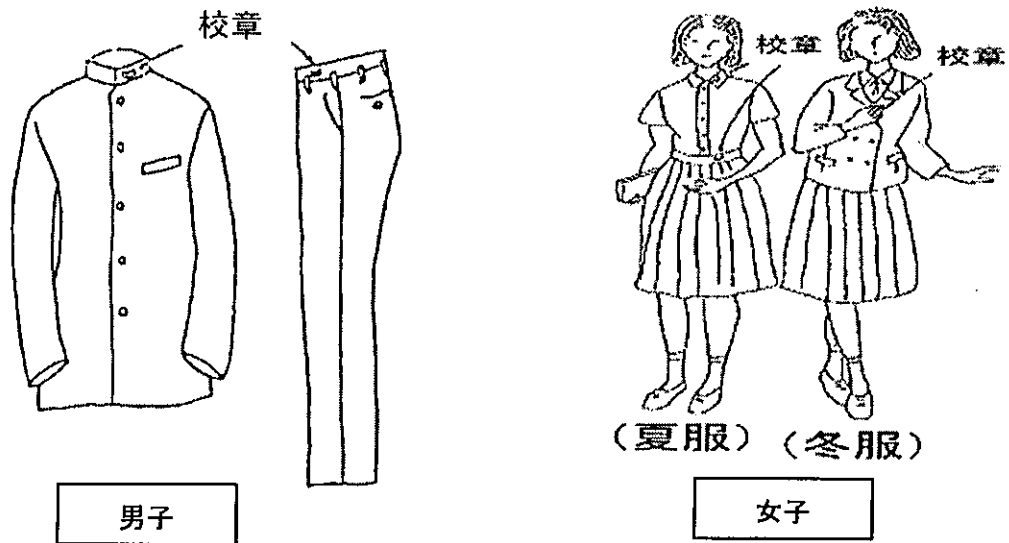
【頭髪】

男 子	<p>襟・耳、前髪は目にかからない程度にする。 *禁止事項：パーマ・脱色・染髪・香料・整髪料（ワックス等）・眉毛そり</p>
女 子	<p>前髪は目にかからないようにする。肩にかかるときはゴム（黒・紺・茶）で結ぶ。 *禁止事項：パーマ・脱色・染髪・香料・ヘアバンド・リボン等髪飾り・整髪料・眉毛そり</p>

【男女共通事項】

体 育 の 服 装	トレシャツ ハーフパンツ	<ul style="list-style-type: none"> ・白色の半袖または長袖シャツ，校名入り。 ・紺色のハーフパンツ。
	ジャージ	<ul style="list-style-type: none"> ・紺色，校名のマーク入り。
<p>※トレシャツはハーフパンツおよびジャージの中に入れる。</p>		
通 学 靴	<ul style="list-style-type: none"> ・体育時に適応できる運動靴。（ハイカットは認めない。） ・体育館シューズは通学靴としては使用しない。 	
上 履 き	<ul style="list-style-type: none"> ・学校指定の上履き（2019年度 1年（赤）2年（黄）3年（青）） 	
レインコート	<ul style="list-style-type: none"> ・黄色などの明るい色がよい。 	
防 寒 着	<ul style="list-style-type: none"> ・無地の着、もしくは部活動で認められたものを着用してよい。登下校時のみとする。（生徒玄関まで）校内の生活では着用しない。 	
マフラー	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時のみとする。（生徒玄関まで）校内の生活では着用しない。 	
手 袋	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時のみとする。（生徒玄関まで）校内の生活では着用しない。 	
帽 子	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時のみとする。（生徒玄関まで）校内の生活では着用しない。 	

リップ	・透明なもののみ。(色・香りのついたものは不可)
カバン	・通学カバンまたはリュック (リュックの色・形は自由とするが、日常の学習用具を収納でき通学に支障をきたさないもの。また華美にならないこと)
体育館シューズ	・指定のもの。(男子は青線、女子は赤線)
下着(シャツ)	・白色無地。ワンポイントは可。上着からでないもの。
携帯電話	・原則禁止。(やむを得ない理由がある場合を除く。)



4 校外生活

中学生であっても社会の一員としての自覚をもった行動をしよう。

- (1) 法に触れること、中学生としてふさわしくない行動はとらない。
(飲酒、喫煙、深夜の外出、出入り禁止場所への出入り、その他触法行為)
- (2) 土佐南中学校の生徒として、服装・行動は十分に気をつけよう。
- (3) 友人同士の金銭・物品の貸し借りはしないようにしよう。
- (4) 訪問は、時間・相手の都合を考えよう。特に、保護者の留守のときは、訪問を遠慮しよう。
- (5) 外泊はしない。

